

梅田学園カップ

第28回 UMK 小学生ソフトボールチャンピオン大会

競技規則

☆ 2019年度オフィシャルソフトボールルールによる。但し、次のことを設定する。

【 予選リーグ 】

- ① 7回または60分を超えたら新しいイニングに入らない。
- ② 同点の場合は引き分けとする。
- ③ 同じ予選パートでの同率の場合は、トーナメント方式により新しいオーダー表でタイブレーカー2回まで。それでも決着がつかないときは抽選で代表を決定する。
- ④ 帯同審判をお願いする。

【 決勝トーナメント 】

- ① 1回戦は、7回または60分を超えたら新しいイニングに入らない。
- ② 2回戦から決勝戦までは、7回または70分を超えたら新しいイニングに入らない。
- ③ 1回戦から準決勝までのタイブレーカーは2回までとし、同点の場合には抽選とする。
- ④ 決勝戦のタイブレーカーは決着がつくまでとする。
- ⑤ 不戦勝のチームは帯同審判をお願いする場合がある。

【 その他 】

- ① 危険防止の為、打者、次打者、走者、捕手、選手によるベースコーチはヘルメットを着用すること。
- ② 捕手は、スロートガード付マスク、膝当て付レガース、ボディプロテクターを着用すること。投球練習を受ける捕手はマスクを着用すること。
- ③ チームは、試合30分前に該当球場に集合し待機すること。
- ④ 各チームの主将は、試合30分前に該当球場のバックネット裏に打順表1組4枚（登録選手全記入）を持って集合し、審判員の指示を受けること。
- ⑤ ベンチは組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- ⑥ ルールの疑義については、監督のみが質すことができる。
- ⑦ 女子選手の同時出場3名までのオフィシャルルールは適用しない。
- ⑧ 不良用具は該当チームの試合が終了するまで大会本部で預かる。球場を後にする際には必ず受け取りに来ること。
- ⑨ 競技場内での練習は禁止する。
- ⑩ 競技中の事故については、応急措置の他、主催者は一切責任を負わない。
- ⑪ 決勝トーナメント1回戦までは帯同審判員をお願いする。
- ⑫ 試合球は県協会指定の内外ゴム検定2号ゴムボールとし、各チームの持ち寄りとする。
- ⑬ 降雨、日没によるサスペンデッドゲームを適用する。